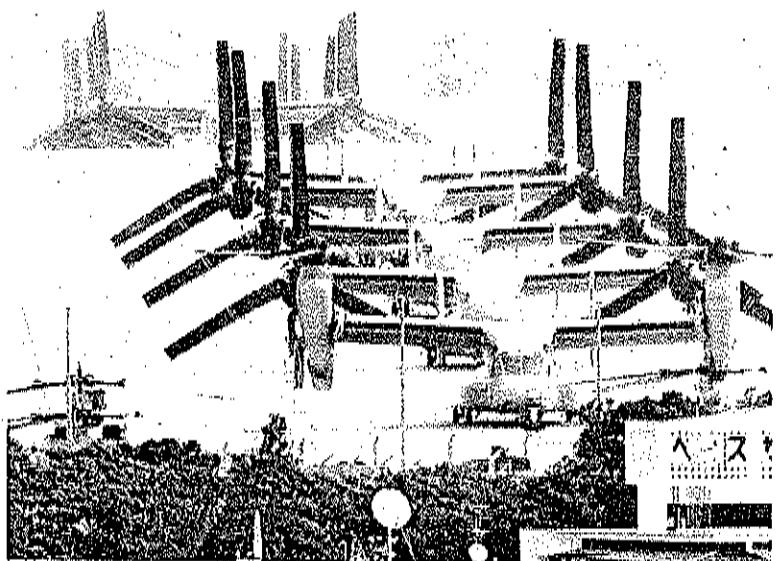


米、オスプレイ飛行許可



米軍普天間基地に駐機する米海兵隊のオスプレイ=8日、沖縄県宜野湾市

デニー 知事「再開許されない」

【シンガポール】米海軍航空システム司令部(NAVAIR)は8日、~~無闇離着陸機オスプレイの飛行許可を出した~~と発表しました。鹿児島県屋久島で昨年11月に発生した墜落事故を受け、世界全域で同機の飛行を一時停止していましたが、「米国の防衛に不可欠」などと主張して約3カ月ぶりに解除しました。

段階的に運用へ

屋久島では米空軍横田組員8人全員が死亡しましたが、事故原因はまだ特定されていません。NAV

AIRは報道発表で「事故を起きたした部品の不具合を特定するため米空軍の調査に協力した」と述べるにとどめ、具体的な部品名にも「事故原因にも一切言及していません。これに関して、オスプレイの現地である米軍普天間基地を抱える沖縄県の玉城デニー知事は9日、「事故原因が究明されないと中の飛行再開は

おり、部隊は期間を「数ヶ月」、海兵隊は「晚春または初夏」ままでござります。ただ、期間中の訓練飛行の可能性は排除されません。米軍事ニュースサイトによると、「レイギング・ディフェンス」によれば、計画完了の期間通りにて、空軍は3月との見通しです。一方、海兵隊は3月で完了としている

防衛省、米軍発表うのみ 「安全に運用再開できる」

防衛省は8日夜、「(事故の原因となった部品の)不具合に対する各種の安全対策の措置を講じた上で、安全に運用を再開できる」ことを確認せず、住民の懸念をよそに国内での飛行を野放してしまいました。